

ふりがな 氏名	しげまつ まさはる	都道府県	千葉県							
	重松 雅治									
所属/肩書	麗澤中学・高等学校 / 教諭									
私のESD活動	多様な価値観と広い世界を知る機会作り									
関心・活動のSDGs										

活動の概要

とにかく生徒たちに活動を通して世界に存在する多様な価値観を知ってほしい、そのための機会を提供したいと思って活動しています。特に大学・NGO/NPO・企業といった学外機関、そして海外との連携を意識しています。本で寄付ができるバリューブックス、株式会社ユニクロの実施する衣料品回収、認定 NPO 法人セカンドハーベストジャパンのフードドライブなどを実施しました。これからの活動を通してお金を箱にいれる「募金」以外の協力の仕方を考えました。2017年にはアメリカの教員との交流プログラム「日米教員交流プログラム」に私自身が参加し、そこで得たネットワークで、本校の生徒とアメリカの生徒が動画を使ってお互いの学校を紹介したり、制服の意義について意見を交わしたりしました。核兵器廃絶キャンペーン「I CAN」がノーベル平和賞を受賞した際には兵庫県北須磨高校の主催する折り鶴プロジェクトにも参加し、本校の生徒が鶴の折り方を説明した動画を世界に共有しました。世界と自分たちがすぐにつながることができる、ということを実感しました。また大学院の若手研究者・教授によるサイエンスカフェ、ジャパントイムズ・清水建設・森永乳業・読売新聞への企業訪問等を通じて、生徒にはまだ見えない社会と自分たちとのつながりを考える機会を設けました。様々な人たちと混ざることによって刺激を受けることを大事にしています。

- ・「麗澤中学高等学校 折り鶴プロジェクトに参加」 <https://www.hs.reitaku.jp/pastnews/news/2017120719574071.html>
- ・「麗澤中学高等学校 古本を回収して西日本豪雨被害の支援に」 <https://www.hs.reitaku.jp/news/6010/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

このコンファレンスへの参加を通して3つの事を期待しています。①自分自身が多くの出会いによって刺激され、より良い教育のための活力を得ること。ESD 活動を積極的に実施している方との出会いによって自分に自信を持ち、また ESD 活動の可能性をさらに感じていきたいと思えます。②自分の学校でも活かすことのできる活動や周囲の先生方にも伝えられるような手法を得ること。③新しいネットワークを構築し、これからの未来の子どもたちの教育について、一緒に協働できる仲間を得ること。

参加中は積極的にネットワークを広げ、その場で協働プロジェクトを考えられるくらいになればベストだと思います。また自分の持っているネットワークも提供し、日本全国はもちろんのこと、海外ネットワークも含め、大きな教育のうねりを起こしていきたいです。ポスターにもある「未来って本当に変えられる？」に対して、私自身はもちろん YES だと思っていますが、それを他の先生にも、生徒にも、保護者にも、思ってもらえるために自分ができることは何か、それをこのコンファレンスの中でしっかり学び取りたいと思えます。